

■ 銘柄:東京白金 ■

氏名 田栗 満

レンジからの離脱が決めてとなる動き！



■ コメント ■

本日の白金は、58円高の3711円で終わる。東京(15:30)の白金スポットレートは1196ドル。
 NY市場を受け買われて始まった東京市場は、一時3703円まで反発を見せた。しかし、テクニカル的な上昇だけに、日計り的な商いも入り3670円まで売り込まれた。只、2度ほど3670円で抵抗を見せ下回れない事を確認すると、引き際に向け買戻しが優勢になり3713円まで戻して終わっている。オシレーターから見た東京市場は、相対力指数の下降ラインを上回り反転を始め、移動平均線の10日平均線が下落している。この状況は、5月8日(A)から反落してきた時とほとんど同様のパターンであり、このまま反発するのは難しいのではないかと考える。そのためにも10日移動平均線の今後の動きに注目した方が良く思える。
 もし反発が起こる場合、価格で3730円を上回りレンジ相場からの離脱が条件となる為、その時には格言「離れに付け」の対応が良いと思える。(16:23 記 田栗)

■ テクニカル ■

移動平均(10MA)	3689円
移動平均(40MA)	3683円
RSI(9日)	46.60%
%D	45.35
slow%D	35.75

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。
 詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている『取引の重要事項』をご確認ください。